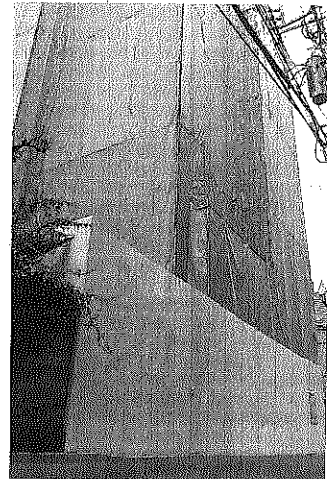


2014年2月26日。会社経営の男性(70)は弁護士事務所が入る都内のビルの会議室で、女(68)と向き合っていた。東京都港区南麻布にある約330平方メートルの土地の所有者だと名乗った。



地面師に勝手に土地登記を書き換えられた土地。現在は正規の取引を経てマンションが建設されている＝東京都港区南麻布

た。終始うつむき加減で、男性はおとなしそうな人だと感じた。男性はこの日、土地を買い契約を結んだ。複数の大使館がある静かな住宅街。投資先として魅力

的に映った。契約には女性が所有者だと証明した弁護士すらも同席。その日のうちに約2億4千万円を払った。だが翌月、本当の所有者の女性が土地を売ろうとして、登記が勝手に書き換えられていることに気づく。女性の申し立てを受け、東京地裁は同年4月、この土地の売買を禁じる命令を出した。この過程で、男性は女が所有者の偽者だったと知った。女らは今年6月、詐欺容

地面師が狙うのは、持ち主が年配で、誰も暮らしていない、抵当権も設定されていない不動産が多い。勝手に売買しても気付かれにくいからだ。こうした土地は増える傾向にある。総務省の調査(2013年)によると、全国の空き家は約820万戸で、5年前と比べて約63万戸増え、総住宅数に占める「空き家率」も13・5%。核家族化や高齢世帯の増加が背景に

あるとみられる。一方、都内の今年の公示地価は、人口増加や東京五輪を背景に平均変動率が4年連続で前年を上回り、2・8%。住宅地では今回の事件の舞台となった港区などで特に高い上昇が続く。捜査関係者は「都心はもちろんだら、地面師に狙われやすい条件の土地は地方にもたくさんあり、被害が潜在化している可能性もある」と話す。

東日本大震災の復興補助金約2億5千万円をだまし取ったとして、東京地検特捜部は20日、大阪府岸和田市の精密機器製造会社「CKU」の役員2人を詐欺の疑

た。逮捕された。10月、河市内加工工場などの金銭の請同年11月をだま

放射能が降っています。静かな夜です

放射能が降っています。静かな夜です。福島市在住の高校教諭で詩人の和合亮一さん(48)が東京電力福島第一原発の事故後、ツイッター上に発信した作品「詩の礫」が仏語に訳され、現地の文学賞を受賞した。20日夕(現地時間)、フランスで授賞式に臨む。

「詩の礫」を出版した徳間書店によると、受賞したのは、フランスの出版社が今年新設した「ニュンク・レビュー・ポエトリー賞」の外国語部門。仏訳された「詩の礫」が初回の受賞作に選ばれた。選考した現地の詩人や編集者らは「福島原発災害という

悲劇的な状況の中で湧き上がる詩的言語の奥深さと清さを評価したという。和合さんは1999年に中原中也賞を受賞。国語の教師として現在、福島県立本宮高校に勤務する。

「詩の礫」は震災5日後から約2カ月間、ツイッターを通じて発した1千件以上のつぶ



和合亮一さん

震災直後にツイート 福島の詩人仏文学賞

■書籍「詩の礫」(第3刷)より抜粋

福島は私たちです。私たちは福島です。避難するみなさん、身を切る辛さで故郷を離れていくみなさん。必ず戻ってきて下さい。福島を失っちゃいけない。東北を失っちゃいけない。夜の深さに、闇の広さに、未明の冷たさに耐えていること。私は一生忘れません。明けない夜は無い。 3月20日0:20

人よ、原子力よ、宇宙よ、封鎖された駅よ、失われた卒業式よ、余震だ。 3月20日23:35

私たちはここに生まれました。福島を私たちが信じなければ、誰が信じる。 3月22日23:34

私たちは噂話の中を、追われている、息を殺して嵐の中を、追われている、不条理な日本。 4月9日22:51

やきを編纂したものだ。福島市内も当時、原発事故の影響で放射線量が上がり、余震が

続いてた。和合さんは、絶望感を誰かに伝えたいと3月16日夜、「行き着くところは涙し

人数だったフォロワーは1万4千人以上に。「それまでも詩を書き続けてきたが、反響は少なかつた。即座に反応があるツイッターは詩人の意識に革命をもたらした」と感じたという。

ひたすらにツイッターで詩をつづったあの時から6年余り。最近「風化が進んでいる」と悩みを深めていたところ、受賞の知らせを受けた。「福島

20日夕、フランス・ジュラ地方で開かれる授賞式に出席し、詩を朗読する。「人は冬を知ったからこそ、春の尊さがわかる。福島という言葉だからこそ、世界に伝わる言葉があると信じている」(伊沢健司)

3億円がよると、建物、認て計3億とする中定に基づき、を支持

「福島」のメッセージを世界に伝えたい」と決意を新たにす

この中で、福島で、雇用を